

第11回大黒屋現代アート公募展大賞受賞者

對木裕里 展

Yuri Tsuki Exhibition

会期：2017年10月1日（日）－10月30日（火）

会期中無休 10:00－17:00

会場：板室温泉大黒屋サロン

アーティストトーク：10月18日（水）20:00－21:00

作家在廊予定日：毎週土・日・月曜日、18日（水）

板室温泉大黒屋では2017年10月1日から10月30日まで、第11回大黒屋現代アート公募展大賞受賞者、對木裕里による個展を開催いたします。

對木は、石膏、粘土、木材、シリコン、ブロンズ、石など様々な素材を使用して作品を制作しています。

本展では石膏を型取りする彫刻作品を中心に空間を構成し、レリーフなども含め新作およそ25点の作品を展示致します。



「とかいのたてもの」(2017)

手と手を合わせると、そこには同じくらいの力でお互いを打ち消しあう場が生まれます。

ものが存在するためには、正反対の力が必要です、存在は矛盾を必要としています。

作ったものを壊したり、あったものがなくなったり、自分の身体が移動したり、制作の過程で物事の重心はゴロゴロと転がり続けて、ふっと手の中に落ちてきます。

単純な関係性から場は開き、地平は無骨な絨毯のように折り重なって広がってゆきます。

連続した事象の中から、(ときに的外れであっても)物事の関係性を見つけ、彼方の土地を耕すようにものに触れたいと思っています。 對木 裕里

対象のもの自体ではなく、人ともものと空間の次元の変化に関心を持つ對木は、事物・空間に含まれる触感・重量・位置・方向性などの抽象的な要素を一度内在化し、自身の感覚でそれらを改めて解釈・再構成してから新たな「かたち」として提示することで、物事の関係や立ち位置の変化、新たな場の創出を模索しています。さまざまな素材を使用して作られる作品はユニークな造形感があり、「変化することを内包した形体観がある」と公募展審査員である菅木志雄は評しており、動的でない作品から動きを感知することができるのは對木の作品の魅力の1つと言えるでしょう。

今回は栃木県での初の個展であり、公募展の大賞受賞からおおよそ1年半じっくりと時間をかけて制作してきた作品です。是非この機会にご高覧いただけたら幸いです。

對木裕里 Yuri Tsuiki

1987 神奈川県生まれ
2009 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業
2011 京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了
現在 東京にて制作を行う

個展

2017 「ざらざら」(東京 g FAL 武蔵野美術大学 / 東京)
2015 「左みずうみ」(alainistheonlyone/ 東京)
2014 「分け入って、分け入って」(古書まどそら堂 / 東京)

主なグループ展

2017 「群馬青年ビエンナーレ2017」(群馬県立近代美術館 / 群馬)
2016 「Identity XII - Memorandum on Sublime curated by
Taro Amano (nichido contemporary art/ 東京)
「ALL NIGHT HAPS 2016 「私がしゃべりすぎるから
/ 私がしゃべりすぎないために」
(京都 HAPS)

受賞歴

2014 第4回新鋭作家展優秀賞 (川口市立ギャラリー・アトリア)
2014 第9回大黒屋現代アート公募入賞
2013 第8回大黒屋現代アート公募入賞
2011 京都市立芸術大学同窓会賞受賞



「水位」(2017)



「持物」(2017)



第11回大黒屋現代アート公募展大賞受賞作品
「rolling field」(2015)

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願い致します。

ご質問等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

板室温泉大黒屋 325-0111 栃木県那須塩原市板室 856

website : www.itamuro-daikokuya.com

お問い合わせ 板室温泉大黒屋 プレス担当：伴内幸江、八木良美

TEL 0287-69-0226 FAX 0287-69-0497 E-mail onsen@itamuro-daikokuya.com